

9月1日(日)

時間 10:00~16:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎

対象 歯科医師

研修費 歯科医師(会員)20,000円、歯科医師(会員5年未満)5,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)30,000円

インプラントと矯正

~インプラント知識×矯正の知識で
ステップアップしませんか?~



米澤 大地

米澤歯科医院

[略 歴]

1996年 長崎大学歯学部 卒業
2003年 米澤歯科医院 開業
2008年 S.A.F.E.(Sharing all Failed Experiences)共同設立
2009年 GPO(General Practitioner's Orthodontics)設立
2014年~ 長崎大学歯学部 歯科矯正学分野 非常勤講師
2017年~ 長崎大学歯学部 口腔インプラント学分野 臨床准教授
2018年~2023年 日本臨床歯科学会大阪支部長(大阪SJCD 会長)
2019年~ 大阪歯科大学付属病院 口腔インプラント科 CEセミナー講師
2023年 日本臨床歯周病学会理事 OJ理事
日本臨床歯科学会理事(SJCD)

インプラント治療の前処置として、対合歯の挺出を抑え、歯列の軽微な不正を修正し、即時埋入のために歯を挺出し、適切なインプラント補綴を実現するために歯軸を修正するなど、部分的な歯の移動を行うM.T.M.(Minor Tooth Movement)テクニックは、インプラント治療のクオリティ向上に寄与します。

しかし、この歯を移動させる方法は通常の歯科治療とは異なり、治療の複雑さや必要な材料に関してなど、理解が難しいことがあります。また、潜在的なリスクに対する懸念もあり、慎重なアプローチが求められます。本講演では、日常臨床において実践可能な部分矯正の手法、その診断、潜在的なリスクについて考察します。

また、私が著書で提唱したM.T.M.(一歯単位の小規模な部分矯正)と対照的に、範囲が広い偏顎部分矯正のL.O.T.(Limited/Local Orthodontic Treatment)は技術的な難易度は低いが、包括的な咬合治療において重要な役割を果たします。さらに、全顎矯正治療はインプラント治療との協力において優れた結果をもたらします。欠損歯列においては、インプラントが不要となることもあります。審美的な問題や咬合の問題を抱えた患者に対して、インプラントと矯正治療を組み合わせた治療計画についてもご紹介いたします。